

平成25年度栃高教研情報教育部会南部支部会の報告

1 期日 平成25年11月12日(火) 13:30~15:30

2 会場 栃木県立小山西高等学校 会議室

3 内容

(1) 会場校校長挨拶(小山西高 校長 大根田 文昭)

(2) 情報教育部会挨拶(足利女子高 松本 尚浩(部会監事))

(3) 協議

- ・来年度南部支部役員選出(栃木女子、もう一校は確認後)
- ・各学校の取組について

授業内容については、同学年次に2単位を行っている学校については座学1時間、実技1時間の形を、学年を跨いで1単位ずつ行っている学校については、実技がメインであった。しかし、近年のLINEなどの普及による生徒指導が増えており、情報モラル教育の徹底が不可欠になってきており、各校、様々な教材を用いて指導を行っているとの話があがった。

実技の内容は、ワード、エクセル、パワーポイントを使用して、検定対策や課題研究、進路学習など、学校行事に合わせた展開を実施している。また、県立高校ではまだ少ないが、使い勝手の良いタブレットの導入を検討している私立高校もあり、教科「情報」の時間だけでなく、予習や課外授業等のeラーニングの充実を目指した体制づくりを行っている話もあった。従来の機器の場合の持ち運びや設置の手間を解消でき、情報機器の活用が浸透する期待があがった一方、WiFiなどの環境面での課題もあがり、佐賀県の動向に注目したいという話もあった。

また、情報の免許保持者が各校に均等に配置されているかという話題もあがり、新規採用がないなかで、急速に進む技術の進歩への対応と担当職員の負担増について議論された。

- ・情報教材の提供について

部会HPのリンク集を充実させたらどうかという意見が出た

